

荒尾第一小学校便り

明倫

R4.10.3
第5号

文責
高田みゆき

前期も残りわずか。

学習、生活をきっちり！

朝晩はずいぶん涼しくなりましたが、日中はまだまだ暑い日が続いています。十月となり、前期も終末を迎えます。

始業式からこれまでの半年、一小のみんなは元気に学習や行事などの活動に取り組んできました。初めから高い自覚を持ち、努力を続けてきた人がたくさんいました。

また、初めのころとは見違えるような成長や落ち着きを見せるようになった人も大勢います。一小のみんなが前向きに進んでいる姿を見ることができて、私は大変幸せに思います。前期後半の学習や生活をきっちりと締めくくって、後期のさらなる前進につなげてほしいと思います。

地域と共に 音と光の祭典！

参加・参画頑張りました

六年生は十月一日の「音と光の祭典」に、スタッフとして参画するために、元気づくり委員会の方々の支援を受けて懸命に準備をしてきました。当日は、受付や司会進行、マルシェの手伝い、スタンプリー、

宮崎兄弟のペーパーサート、ウクライナへの募金活動と自分の仕事をいきいきと行っていました。

また、二年生はよさこいソーランを披露しましたし、一小クラブ（音楽部）による歌と合奏や上小路神楽の舞もありました。いずれも、自分たちにできる地域への貢献をしようと努力をしています。



テニールボール 楽しいなあ。

有明高校の生徒の皆さんが、五年生にTボールを教えるに来てくださいました。ボールの投げ方やバットでの打ち方など、丁寧に教えてくださるので、

どんどん上達できました。五年生の子どもたちは、高校生のお兄さんたちと一緒に活動することが、とても楽しそうでした。今後とも何度か来てくださいます。ありがとうございます。



防災月間

九月は、二つの台風が荒尾に接近し、大変心配しました。二つとも、予想されたような勢いではありませんでしたが、それでも、台風が通り過ぎるまでは、心配でたまりませんでした。一小は、二次避難所になっていきますが、今回は二回とも避難所として開設され、避難してこられる地域の方がいらつしやいました。コロナ禍での避難ということで、密を避けるため、教室が避難所として使われました。体育館はペット同伴の避難所となりました。

さて、「防災の日」である九月一日を含む八月三十日～九月五日の一週間は台風や洪水、地震、火山の噴火等の自然災害から、自分の身を守るために大切なことを確認する防災週間でした。九月十日の土曜授業では、各学年、防災に関する学習を行いました。自分の命を守るためにどうすればよいか話し合いました。

日本は地震の発生が多い国です。また台風や大雨による災害も多くなっています。ご家庭でも、どんなことを準備したり気をつけたりすればよいか、確認するといいですね。

